

かわさきTMO通信

＜かわさきTMOの最新情報はホームページで閲覧できます＞

2019年9月号 No.75

- 令和元年度通常総会のご報告
- 新会長の就任ご挨拶
- 事務局たより

発行元：かわさきTMO
 発行責任者：会長 馬場 義弘
 編集責任者：タウンマネージャー 大木 淳
 発行日：2019年9月1日
 発行部数：1,000部
 ◆連絡先
 TEL：044-233-8874
 Email：okuyama-tmo@outlook.jp

かわさきTMO通信は「まちづくり情報交換誌」を目指しています。
 お気軽に情報をお寄せください。
 ご意見・ご感想・ご要望大歓迎です！

●令和元年度かわさきTMO通常総会のご報告

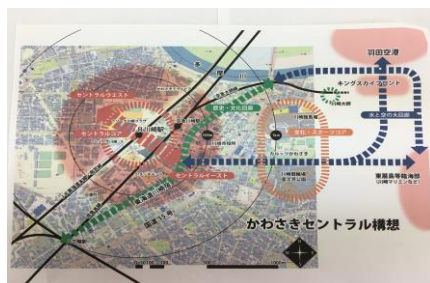
六月二十日(木)、川崎信用金庫本店二階会議室にて、令和元年度かわさきTMO通常総会が開催されました。



第一号議案は、平成三十年度事業報告及び事業費決算書について報告されました。特に「川崎未来づくりワークショップ」については、計三回の実施で、中学生を含む市民、地元商店街、大型店、行政関係者等、毎回多くの方々に参加してくださいました。第一回では川崎駅周辺の現状を確認し、問題意識・課題を相互に共有し、「川崎未来プロジェクト」として川崎駅周辺の活性化のアイデア

を募集致しました。第二回では応募されたアイデアのプレゼンテーションを実施し、参加者からはその感想・アドバイスを頂きました。

第三回では、かわさきTMOから「川崎セントラル構想」をご提案させて頂きました。



- ①セントラルコア⇨川崎駅+大型商業施設によるにぎわい・結節拠点の形成
- ②セントラルイースト(ウエスト)⇨繁華街の回遊性の強化
- ③文化・スポーツ拠点の形成
- ④歴史・文化回廊⇨東海道川崎宿コンテンツの集積・魅力の発信
- ⑤水と空の大回廊⇨人々の大きな回遊の創造

第二号議案は令和元年度事業計画(案)及び事業費予算(案)について川崎市からの委託事業を実施し、自主事業は、「川崎セントラル構想」の実現に向け、既成市街地における川崎ならではの魅力的なコンテンツを結集・発信し、駅直近に集中しがちな客層の回遊を即し、話題喚起とリピーター効果の最大化を目指します。

事業費予算(案)については、今年度は三百五十万円となりました。事務所の移転(川崎駅広域商店街連合会内)等で節約をしながら、より有効に使用していく旨の説明がありました。

第三号議案は会長等の選出で今年一月にご逝去された猪熊俊夫会長の後任として副会長の馬場義弘を会長に、併せて四名の副会長、一名の会計監事、さらにサブタウンマネージャーの大木淳をタウンマネージャーに昇任することを諮りました。

第四号議案は第三号に伴う会則の変更でした。

以上、すべての議案が満場一致で承認されました。

●馬場 義弘新会長から 就任のご挨拶



この度、川崎TMOの会長を務めさせて頂くことになりました馬場義弘です。

川崎市は人口が増加している全国でも稀なる地域となっており、市全域では百五十万人を突破しております。皆様ご承知の通り、川崎駅周辺は古くは東海道川崎宿に端を発し、その後の歴史を経て、戦後には鉄鋼業や石油精製・石油化学などの多くの企業が集積した臨海部との関係から、そうした企業の就労者と古くからの住民の生活を支える商業・業務地として発展してきました。さらに近年では首都直近の好立地ということが注目され、様々な開発が進み、先端企業が進出しており

ます。では、今後求められる”川崎駅周辺地域“の姿とは何でしょうか。「誰もが安心して楽しく歩ける街」は当然のこと、さらに魅力のある付加価値が見い出せるかどうかではないでしょうか。

かわさきTMOは平成三十年度に三回のワークショップを開催し、参加された皆様から今後の川崎の未来づくりに役立つ貴重なアイデアやご意見を頂きました。それらを集約する中から、「セントラル構想」をご提案させて頂きました。それを一言で申せば、今まで点と点であった地域・施設等に軸を持たせ、大きな回遊性の創造を図ることによって繋げていこうというものです。

今年度もワークショップを開催し、具体的な企画を立案・実行してまいります。

長い歴史の中で育んできた文化を持ち、多くの人々で賑わってきた川崎。今まで築き上げてきた多様性を生かして、「川崎にしかない魅力」を創造すべく一つ一つ進めてまいりたいと存じます。どうぞご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

令和元年第一回「かわさき未来づくりワークショップ」開催ご案内

川崎駅周辺の活性化に向け、次世代のための明るい未来を創造していく具体的なアクションを生み出すことを目的とした「かわさき未来づくりワークショップ」を開催します。ご参加をお待ちしております。

日時：九月三十日（金）十四時半
会場：川崎市産業振興会館九階

第三研修室

《お申込・お問い合わせ》

かわさきTMO事務局(広域商連内)
電話：044-233-8874

E-mail: kosyoren@ace.ocn.ne.jp

◆事務局たより◆

令和元年六月二十日、私たちは総会を開催し、今年一月にご逝去された猪熊俊夫会長の後任として馬場義弘氏を会長に選任いたしました。

これまで、私たちが猪熊前会長から学んできたことは、【商業者は自分たちの商売、小さな集まりで物事を考えるきらがある。川崎駅周辺の活性化を考えるなら、オリンピックに向け、槌音高く都市改造が次々と進んでいる首都圏諸都市に目を

向け、そうした関連の中から、川崎駅周辺はどうあるべきかを考えるべき。それが広域商連とは別に、もう一つTMOが存在する理由】との言葉に集約されます。

馬場会長は、【三十数年続いた、中央商連と駅前商連の分裂を解消し、様々な思いを持ちながらも帯同団結を果たした、猪熊前会長の同志】であり、【これからの主役は、若い次世代に】と、常々語っておられます。

今年度、私たちは馬場会長のもと、【かわさきTMOの存在理由】を確かなものとするため、昨年度、多くの市民を交えて作り上げた「セントラル構想」を中心として、「かわさき未来づくりワークショップ」を開催してまいります。この「ワークショップ」では、川崎の街の魅力と来街の動機づけとなるものは何か、川崎を対外的に紹介するに足る「かわさきコンテンツ」を徹底的に洗い出し発信していきます。ぜひ、多くのお力をお寄せください。

(リエゾンコーディネーター 伊藤和良)